

資料 4

令和 7 年度各専門部会等の事業計画

令和 7 年 (2025) 5 月 2 1 日

出雲市健康福祉部福祉推進課

令和7年度 じりつ専門部会 活動計画

(施設からの地域移行ワーキング)

取組課題		施設やグループホームからの地域移行、地域定着についての現状と課題、今後の取組内容について、検討を行います。						
部会員 (◎会長) (○副会長)	氏名	◎濱村	○高尾	川島	玉木	(米山)	富岡	
	事業所名	光風園	出雲サンホーム	かのん	かのん	かのん	Reve	
令和6年度								
ねらい		施設からグループホームを経て地域への移行の流れをふまえ、まずはグループホームからの地域移行の現状および課題を把握する。						
実施したこと		相談支援専門員およびグループホームサービス管理責任者に「グループホームから地域移行したケースに関する実態アンケート」を実施。2月に部会主催の企画を実施した。						
成果		地域移行に必要な「住まい探し、金銭・家計、家族・支援者の反対・本人の意思等、同じ支援の目的を共有する」等多様な考えを共有できた。						
令和7年度								
ねらい		グループホームからの地域移行をかなえる具体的な手立てを考える。						
方法等 (いつ頃に何をするか)		住まい探し、金銭・家計、家族・支援者の反対・本人の意思等、同じ支援の目的を共有する方法をリスト化する。						
具体的 な方法	5月	活動計画の検討、「地域移行の手立て」の発信方法や媒体のアイディア出し						
	6～7月	地域移行アンバサダー（案：地域移行を実際に行ったケースのスーパーバイズを担う役割）の運用について、基幹相談支援センターに相談						
	9月	地域移行の為のフローチャート（案）、地域移行アンバサダー（案）の運用検討						
	10～11月	「地域移行のフローチャート」発信をサービス調整会議にて告知						
	12月	「地域移行の為のフローチャート」（データ形式）を相談支援専門員に発信						
	1月	相談支援専門員からフローチャートのフィードバックをもらう						
	2月	フィードバックを検討し必要に応じた修正を行う						
	3月	今年度の取り組みのふりかえり、次年度活動方針検討						

令和7年度 じりつ専門部会 活動計画

(にも包括 ワーキング)

取組課題		地域包括ケアシステムを活用した精神障がい者の支援について、現状と課題、今後の取組の検討を行い、必要な取組を行います。						
部会員 (◎会長) (○副会長)	氏名	渡部	勝部	森谷	土井	小玉	藤原	小山
	事業所名	ふあっと	そうゆう	そうゆう	出雲保健所	出雲保健所	事務局	事務局
令和 6 年度								
ねらい		○認知症の有無に関わらず精神疾患がある高齢者の退院支援における現状と課題を明らかにする。 (ケアマネージャー、高齢者施設等へのアンケート調査) ○利用者が求める住まいと居住支援について検討する						
実施したこと		○高齢者の退院支援にむけた現状と課題、必要な支援等について施設、居宅介護支援事業所にアンケート調査を実施						
成果		○アンケート結果から退院前から必要に応じてチーム作りをし退院後の支援について役割分担ができると良い事や精神疾患や障がいの理解を図る必要がある事など今後取り組む内容が検討できた。						
令和 7 年度								
ねらい		・長期入院患者の退院を促進する為の体制作りを行う ・チーム支援実現に向けた「あったらいいな」を形にする						
方法等 (いつ頃に何をするか)		・令和6年度のアンケート結果を分析し報告する。病院の相談員との意見交換を行いケースに対する具体的なアプローチを共有する ・事例検討を行いチーム作りの参考となる部分を摘出しモデル構築につなげる						
具体的な方法	5月	令和6年度の成果を踏まえ年間事業計画の検討						
	6月	アンケート結果の分析・まとめ・役割分担						
	7月							
	8月	アンケート報告、病院相談員との意見交換（三ヶ所の病院予定）						
	9月							
	10月	事例検討打ち合わせ						
	11月	事例検討①						
	12月	事例検討の振り返り、参考となる部分を摘出しモデル構築につなげる						
	1月	事例検討②						
	2月	事例検討の振り返り、参考となる部分を摘出しモデル構築につなげる						
	3月	まとめ						

令和7年度 こども専門部会 活動計画

取組課題		重症心身障がい児や医ケア児、外国籍児、行動障がい児などよりきめ細やかな支援が必要な児の児童発達支援や放課後デイサービス、短期入所等の受け入れ促進にむけて、現状やニーズ把握を行い、方策を検討し提言します。						
部会員 (◎会長) (○副会長)	氏名	◎岡本 松村	○田中 福田由	矢田	岡	タ永	青木 藤原	
	事業所名	さざなみ学園	プレーゲ	ハートピア スマイル	つくつく	CSいずも	事務局	
令和6年度								
ねらい		重症心身障がい児や医ケア児、外国籍児、行動障がい児などよりきめ細やかな支援が必要な児の児童発達支援や放課後等デイサービス、短期入所等の受入れ促進に向けて、実態把握として障がい児サービス提供事業所をはじめ、課題に関連した関係機関等が抱えている現状や課題を知る。						
実施したこと		①放課後等デイサービス事業所 ワールドカフェ ②児童発達支援 座談会 ③サービス調整会議こども専門部会企画 ④出雲圏域医療依存度の高い在宅療養児の生活支援検討会への参加 ⑤子ども政策課との情報共有						
成果		①②サービス提供事業所との情報交換を通して事業所の現状や課題、アイデアを共有した。また同業同士の相互理解を深めることができた。③児童から大人への移行期の工夫や仕組みを確認することができた。④出雲圏域の医療的ケア児の現状を知り、意見を聞くことができた。⑤児童クラブ・幼児発達支援の現状や今後の動向、関係機関の連携強化を確認した。						
令和7年度								
ねらい		取組課題に関連した関係機関や相談支援専門員等が抱えている現状・課題を継続的に把握し、前年度に明確化した課題も含めて方向性を検討する。						
方法等 (いつ頃に何をするか)		短期入所事業所との意見交換を行い現状や課題を深める。また、相談支援専門員との意見交換を行い、利用可能な福祉サービスにつないだ取組や課題について情報共有を行う。						
具体的な方法	4月23日	第1回部会：年間計画の検討						
	5月13日	第2回部会：短期入所事業所との意見交換の検討						
	6月18日	≪短期入所事業所との意見交換≫						
	7月16日	第3回部会：意見交換会振り返り						
	9月17日	第4回部会：相談支援専門員との意見交換の検討						
	10月15日	第5回部会：相談支援専門員との意見交換の検討						
	11月	≪相談支援専門員との意見交換会≫						
	12月17日	第6回部会：意見交換会振り返り						
	1月21日	第7回部会：7年度活動まとめ 8年度活動計画の検討						
	2月18日	第8回部会：7年度活動まとめ 8年度活動計画の検討						

令和7年度 そうだん専門部会 活動計画

取組課題		現状の本市における相談支援体制や活動内容について検証・評価を行うとともに、障がい者や家族、地域住民等にとってアクセスしやすい相談支援体制、専門的な指導や助言、人材育成等さらなる強化・充実に向け基幹相談支援センター等の設置の在り方や重層的な仕組みを含めて、本市らしい相談支援体制の構築について検討し提言します。						
部会員 (◎会長) (○副会長)	氏名	◎布野	景山	○足立	渡部			
	事業所名	ハートピア出雲	ハートピア出雲	ふあっと	ふあっと			
令和6年度								
ねらい		本市の相談支援体制や活動内容の検証・評価を行う。 令和7年度の基幹相談支援センター設置、出雲らしい相談支援体制の構築、必要な機能の検討を行い、協議会に提言する。						
実施したこと		事業所へのアンケート調査、基幹相談支援センターに関する研修の実施。 相談支援の役割と機能の整理、相談支援体制についての協議。						
成果		基幹相談支援センターが設置された。 相談支援体制について提言書にまとめて協議会にて提言した。						
令和7年度								
ねらい		やりがいを感じながらスキルアップできるように地域の中でのOJTの実施など、人材育成の仕組み作りを行う。						
方法等 (いつ頃に何をするか)		出雲市の人材育成の現状と課題を整理し、出雲市版の人材育成ビジョンを作成する。						
具体的な方法	5月	人材育成の現状と課題の整理						
	6月	人材育成の現状と課題の整理						
	7月	人材育成の現状と課題の整理 主任相談専門員連絡会にて人材育成について意見交換を行う						
	8月	人材育成の現状と課題の整理 人材育成及び地域づくりに関する研修会の企画						
	9月	人材育成及び地域づくりに関する研修会の実施 研修会にて人材育成及び地域づくりに関する意見を聞く						
	10～2月	人材育成ビジョンの検討。						
	3月	人材育成ビジョンの完成。						

令和7年度 就労支援ネットワーク会議 活動計画書

メンバー	リーダー：青木（あそび） サブリーダー：萬代（ハートピア出雲） 書記：平木（出雲養護学校） 佐藤（飾彩房） 佐藤（あそび） 柳楽（ワークセンターフロンティア） 二岡（虹の工房まるべりー） 柳楽（ぽんぽん船） 山本（やまびこ園） 小豆澤（豆の樹） 山根（ハローワーク出雲） 福田（リーフ） 鍵山（こころの医療センター） 原（出雲保健所） 佐藤（アトリエール） 原（県立東部高等技術校） 藤井（県立東部高等技術校） 細木（しまね東部若者サポートステーション） 森山（島根県中小企業同友会／Office Sou） 吉川（スタンドUP） 福間（太陽の里） 藤江（ミライカ） 永田（エルパティオ三葉園） 長岡（エルパティオ三葉園） 森山（出雲村田製作所） 事務局：森山（福祉推進課） 高木（福祉推進課）
現 状 （問題点・課題）	①障がい者の就労をめぐるには、福祉・労働・教育・医療・行政など多分野の関係機関がかかわっている。当事者にとって最善の支援を行っていくためにも、必要な支援システムを創造していくためにも、互いに顔が見える連携、協働が生まれる基盤としての関係機関ネットワークが必要である。 ②社会情勢が変化していく中で、障がい者雇用を維持推進していくには、企業側のニーズをしっかりと捉え相互理解と連携の地盤づくりを進める必要がある。 ③地域に就労移行支援事業所が少ない。就労継続支援の事業所から一般就労を希望される方がある。希望に応じたステップアップの機会を得られるよう、就職にむけた支援について事業所スタッフに意識やノウハウを広めていく必要がある。 ④就職がゴールではなく、その後長く安定して働き続けられることがさらに重要である。いざという時に有効な支援が提供できるためには、ゆるやかでも継続的なサポートの仕組みが必要である。 ⑤就労アセスメントに代わり導入される「就労選択支援」について、当事者にとって有用なものとして活用されるよう、情報の収集や共有が必要である。
テーマ （ねらい）	①障がい者の一般就労を支援する組織横断的な事業の企画運営 ②企業とのつながり作り ③一般就労にむけた支援ノウハウの普及浸透 ④ゆるやかな就労定着支援の場の提供 ⑤「就労選択支援」の出雲での運用のあり方について検討する
具体的方法 （評価を含む）	①ネットワーク会議の開催（2か月に1回） ①事例検討 ②いずれもの福祉事業所見学会：時期未定 ②＃ツリーカフェ：偶数付き第2木曜日 18:00～20:00 頃 ③合同ジョブガイダンス：10月予定 ③福祉から一般就労へステップアップ意見交換会：時期未定 ④はたらく仲間のコーヒータイム：毎月第3金曜日 18:00～19:00 ⑤「就労選択支援」に関する情報共有と意見交換

年 間 計 画

月	内 容	備 考
4 月	4/10 #ツリーカフェ（偶数月第 2 木曜）  4/18 はたらく仲間のコーヒータイム（毎月第 3 金曜）  4/23 第 1 回ネットワーク会議	スターバックスコーヒーゆめタウン出雲店 ふじひろ珈琲 市役所 入札室
5 月		 5/16
6 月	6/24 第 2 回ネットワーク会議・事例検討	 6/12  6/20 事例提供：虹の工房まるべりー
7 月		 7/18
8 月	第 3 回ネットワーク会議・事例検討	 8/7  8/8 事例提供：ワークセンターフロンティア
9 月	福祉事業所見学会	 9/19
10 月	第 4 回ネットワーク会議・事例検討 合同ジョブガイダンス	 10/9  10/17 事例提供：太陽の里
11 月		 11/21
12 月	第 5 回ネットワーク会議・事例検討 福祉から一般就労へステップアップ 意見交換会	 12/11  12/19 事例提供：県立東部高等技術校
1 月		 1/16
2 月	第 6 回ネットワーク会議・事例検討	 2/12  2/20 事例提供：リーフ
3 月		 3/19

メンバー	会長：池田（ぽこぽこ） 副会長：永田（エルパティオ） 書記：金友（WANA JAPAN） <メンバー> 居住系 WG：松尾（光風園）、矢野（わかば） GH系 WG：富岡（ふあっと） 日中活動系 WG：金友（WANA JAPAN）、福島（麦の家） 就労支援 WG：永田（エルパティオ）、小滝（らいとあっぷ）、吉川（スタンドUP） 居宅介護 WG：松井（さくら） 児童通所 WG：寄貞（すだちクラブ）、加本（いろどり）、丸亀（スタンドバイ YOU） 事務局：大島（福祉推進課）
現状 （問題点・課題）	（１）WGのメンバーが固定されてきたり、減少してきている。WGに参加されていない事業所やWGの実施が困難な事業種もある。 （２）より質の高いサービスを提供する為には横の繋がりも大切であるが縦の繋がりや情報を知る必要がある。ビヨンドプロジェクトで事業所説明会を行う事の意義や毎回同じ事業所の参加で事業所説明会をする必要性を疑問に感じる意見もあり、ビヨンドプロジェクトの方向性を再度検討していく必要がある。
テーマ（ねらい）	（１）サービス管理責任者や児童発達支援管理責任者等が、情報交換やサービスの質の向上に繋がる取組を行いながら、孤立しない顔の見えるネットワークの構築を目指す。 （２）縦の繋がりを深める為にはどのような取り組みが必要か検討する。
具体的方法 （評価を含む）	（１） ①会の開催 年４回（４月、７月、１１月、２月） ・各WGの活動報告 ・研修会等の企画・準備 ②WGの開催（年間計画参照） （２） ・ビヨンドプロジェクトの再検討 ・事業種を越えて意見交換や勉強会を企画

年間計画

	内容	備考
4 月	第 1 回サビ管・児発管ネットワーク会議 ・年間計画の確認 ・ビヨンドプロジェクトについて	
5 月		G H系 WG 就労支援 WG・児童通所 WG
6 月		居住系 WG・日中活動系 WG 児童通所 WG
7 月	第 2 回サビ管・児発管ネットワーク会議 ・各WGの活動状況報告 ・虐待防止・権利擁護研修について ・ビヨンドプロジェクトについて	居住系 WG・G H系 WG 就労支援 WG
8 月		
9 月		就労支援 WG
1 0 月	虐待防止・権利擁護研修 ・WG単位	日中活動系 WG・児童通所 WG
1 1 月	第 3 回サビ管・児発管ネットワーク会議 ・各WGの活動状況報告 ・虐待防止・権利擁護研修の振り返りについて ・ビヨンドプロジェクトについて	居住系 WG・G H系 WG 就労支援 WG
1 2 月		
1 月		
2 月	第 4 回サビ管・児発管ネットワーク会議 ・各WGの活動状況報告 ・ビヨンドプロジェクトについて ・今年度の反省・次年度の体制、計画立案について	居住系 WG・G H系 WG 日中活動系 WG・児童通所 WG 就労支援 WG
3 月		

※開催が難しいWGについては、状況を見ながら可能な範囲で開催をしていく方向。